

環境・企業・地域をつなげる

1 つながりのひろば(新千里西町1丁目)

パナホーム本社ビルには、ビオトープなどが設けられた「つながりのひろば」があります。ヤマザクラやノジクなど外来種を中心とした植物の他、千里丘陵で発見されたメダカも泳いでいます。また、風力・太陽光発電機や防災ベンチも設置され、大規模災害時には帰宅困難者の支援施設になります。



ニュータウンの
今を見てみよう



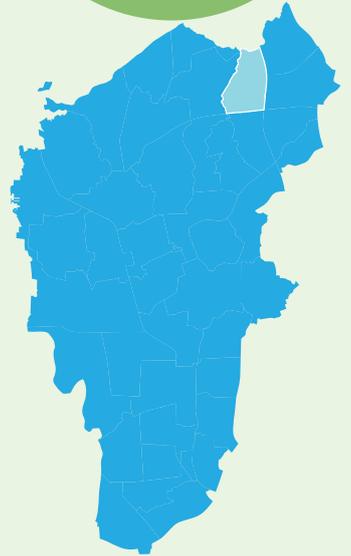
マチカネくんと歩く

まちある記

第19回

みんなで築いてきたまち
新千里西町へ

西丘小学校区



◎北摂の大動脈

新御堂筋と大阪中央環状線、中国縦貫自動車道が立体交差する千里インターチェンジ(新千里西町)。3つの道路の1日当たりの車両の交通量は、約25万台と推定されています。東西には大阪モノレールも走り、その様子はまさに北摂の大動脈といえます。



国道423号(新御堂筋)

千里中央駅

北大阪急行

1

千里IC

千里中央駅

彫刻が息づく道

2 千里アートロード (新千里西町1丁目~3丁目)

千里地区の良好な道路空間の形成を目的に整備された市道新千里5号線。歩道には、自然と調和し、通る人の心が豊かになればとの思いから、彫刻を配置しています。平成7年(1995)には「千里アートロード」の愛称が付けられました。



新千里西町2丁目の歩道

千里ニュータウンの一部として、昭和43年(1968)にまちびらきされた新千里西町。その後、昭和45年に開かれた日本万国博覧会に合わせて鉄道や道路が整備され、まちは大きく変化しましたが、地域の人たちによって緑豊かな自然が守られ、残っています。

千里中央の まち並みを一望

4 千里緑地 (新千里北町2丁目から東泉丘2丁目)

千里丘陵の一部で、島熊山も含め新千里北町から東泉丘まで続く緑地帯を千里緑地と呼んでいます。豊島高校の正門前にある階段から緑地に入ると、木々の間から千里中央のまち並みが見え、改めて今に残る里山の大切さを感じます。



◎新千里西町の木

市道千里西町外回り線沿いには、新千里西町の木でもあるユリノキが植えられています。ユリノキは、2キロメートルにわたり約200本植えられていて、5月頃に淡い黄色の花を咲かせ、まちに彩りを添えます。



紅葉するユリノキ並木

まちの中心にある学校

3 西丘小学校(新千里西町2丁目)

まちのほぼ中心にある西丘小学校では、学校地域連携ステーションという取組みを進め、保護者や地域の人にボランティアとして授業や学校行事に協力してもらっています。また、校内にはコミュニティルームや公民館もあり、地域活動の拠点になっています。



巨大なカブトムシ

5 西町3丁目第3公園 (新千里西町3丁目)

公園にある、巨大なカブトムシの形をした遊具。横と後ろに階段があり、背中から頭部にかけて滑り台になっています。千里緑地にいたカブトムシをモチーフにしたものともいわれています。



このは、
拠点とする
地域の活動の
ね



◎生きている自然の博物館

万葉集にもその名を残す島熊山。現在は山頂周辺が島熊山緑地として残され、タヌキやウグイス、コゲラなど多様な動植物が生息しています。緑地内の自然環境は、毎月、竹の間伐や清掃活動などを行う島熊山緑地協議会の皆さんにより保全されています。

保全活動の様子



中国縦貫自動車道

大阪モノレール

1月号は「まちある記」をお休み。2月号は南桜塚小学校区をご紹介します。お楽しみに。